

日本橋兜町・茅場町地区まちづくり協議会

1. 日時

令和4年7月28日（木）午後3時00分～午後3時35分

2. 場所

銀座ブロッサム（中央会館） 7階ジャスミン

3. 出席者

[構成員] 8人

[都・区関係者] 23人

[オブザーバー] 5人

計 36人

4. 議事等

(議事)

日本橋七の部地域まちづくりビジョンの改定について

【資料1】

5. 質疑応答

《議事(1)》

①まちづくりビジョンの改定内容は、それほど大きく変更しているものではないと思っているが、まちづくり協議会を開催し、改定する目的はなにか。

⇒協議会の開催にあたり、個別に変更内容をご説明して意見交換もさせていただいているが、やはり皆さん一堂に会しての議論も必要と思い、本日の会を設けている。今回のまちづくりビジョンの改定は、当地区内外の状況の変化を反映させることを大きな目的として行うものである。当初の策定から5年経過しており、にぎわいの創出と回遊性の向上に向けて、地域資源を有効に活用していくことなども盛り込んだ内容に改定させていただきたいと考えている。(中央区都市整備部)

⇒今回の案件については、個別に説明させていただいており、意見交換もさせていただいているので、今年の9月にビジョンの改定ということで、それに向けて今後区のほうで手続を進めさせていただければと思っている。(中央区都市整備部)

《その他》

②茅場町の神社やその前の永代通りの辺りでビルを建てる計画があるのだが、なかなか進まないようである。神社を空地として申請する場合に、何か大きな問題があると聞いている。今回のまちづくりビジョンの内容と関係があるのか。

⇒ご指摘の計画について、事業者と協議している。なかなか進まないことについては、地権者間での話し合いを丁寧に進めているので時間がかかっていると認識している。どのように空地等を位置付けるかについても、協議を重ねながら、適切な形で位置付けをしていきたいと考えている。(中央区都市整備部)

③神社としては、空地に位置付けることにより公園と同じような扱いになり、将来的に自分たちの土地の上で何かしたい場合にできなくなる、公園と同じような扱いになるのは非常に困るということで、なかなか進まないのではないかと話も聞いている。

⇒実際には位置付けが固まっていないので、広場をつくった場合どういう使い方になるか等も決まっていない状況である。ただし、開発によってある程度の広場空間ができるのであれば、行政としては、ある程度の公共性を持たせながらどのように使っていくのが良いか、地権者の意向もふまえながら、検討していくべき内容であると考えます。(中央区都市整備部)

④公園のようになると、神社としては24時間誰でも入れるような場所になると困るという事情もあると思う。空地として申請する場合の良し悪しもあり手間取っているようなのだが、法的な問題で中央区として推進させる方法が何かないだろうか。いろいろ検討されているのではないかと考えている。かなり年数がかかっている、周辺の方も地域の活性化に関しては早く進めていただきたいと思っているのではないかと。地権者や神社、法的な問題を含め、きちんとできる方法をできるだけ早急に検討して、できる形を整えていただきたい。

⇒本区としても、まちの方が開発を進めていきたいと思っていることは理解している。良いまちにするためには、それなりの位置付けなどをしっかり組み立てないといけないということで慎重に進めている。合意形成の問題などでも時間はかかるのだが、今回まちづくりビジョンを改定することにより一歩進むことは間違いない。これをきっかけに進んでいくと思うし、我々もそれを推進していきたいと思っている。(中央区都市整備部)

⑤資料4ページ目にある金融軸を見ると、大手町地区、日本橋地区、兜町・茅場町地区が永代通り沿いにつながっている。まちの小さな範囲で言うと、日本橋六の部と日本橋七の部地域にはさくら通りがあるが、どうしても昭和通りで途切れてしまう。人の流れがさくら通りは途切れてしまうので、なんとかもう少しまく横断し、人が流れるようになれば、もっと交流できるのではないかと考える。

⇒人の流れの課題について、区としても認識しており、今すぐ何が出来るかはお答えできないが、ご意見は承った。(中央区都市整備部)

以上